

Title	持続可能な開発目標の実施に関する実証研究
Sub Title	Empirical study on the implementation of the SDGs
Author	蟹江, 憲史(Kanie, Norichika)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	本研究は、持続可能な開発目標(SDGs)の実施にかかる状況を行為主体に焦点を当てながら多面的に研究し、これによりSDGsの実施状況を把握することを通じ、新たなグローバル・ガバナンス戦略としての「目標によるガバナンス」の実態を明らかにすることを目的として実施した。ガバナンスにかかる様々な構成要素をいかなる行為主体や行為主体のネットワークが充足しているかという観点からガバナンスの有効性を評価する手法はこれまでも開発されてきたが、本研究はこれを実証的に検証するものでもある。実証研究としては、沖縄読谷村を主なフィールドとして、学生を交えたフィールドワークも実施した。本年度(平成29年度)は、まず課題分析フェーズとして、ステークホルダーへのインタビュー調査(6月, 11月, 一部12月), ワークショップの開催(11月)を行った。ワークショップでは村内外の主要なステークホルダーを集め、地域の課題と未来を意見交換しながら考えた。農漁業や観光セクターはそれぞれの分野における課題や期待があるとともに、農漁業セクターは、観光セクターと連携しながらそれぞれのセクターの発展を模索していることがわかった。例えば漁業協同組合関係者は、漁獲して売るというこれまでの漁業の形にとらわれず、定置網観光の更なる拡大や、観光客に対する直売式鮮魚食堂での売り上げといった形で事業展開を行っている。また、読谷村の特産物を利用した観光形態を模索する農業と観光セクター従事者の意見もみられた。読谷村の産業と観光の連携を強めるには、どの産業でどのような手法で売り出すかを特定するとともに、どのターゲット層に広報するかを多様なセクター間で議論、連携することが必要であることが明らかとなった。 The Sustainable Development Goals (SDGs) expressed in the form of 17 "goals" and 169 "targets" to be achieved by the year 2030. It calls for all stakeholders to implement the SDGs, including Governments, the private sector, civil society and academia. Especially, most of the goals are directly or indirectly related to the roles of local governments. In Japan, "The SDGs Implementation Guiding Principles" was released by the Government, and it encourages local governments to incorporate the SDGs into their strategies and policies to the extent possible. However, local implementation in Japan has not promoted so far, as the above mentioned Principles does not provide any practical guidance on how to incorporate them in policies. This project explored how global goals could be implemented at local level. This project looked into a local level problem structure in terms of the SDGs at Yomitanson Village in Okinawa. The project identified a number of interlinked problems through interviews and workshops bringing together local stakeholders (held in November).
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170199

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	大学院政策・メディア研究科	職名	教授	補助額	300 (A) 千円
	氏名	蟹江 憲史	氏名 (英語)	Norichika KANIE		
研究課題 (日本語)						
持続可能な開発目標の実施に関する実証研究						
研究課題 (英訳)						
Empirical study on the implementation of the SDGs						
1. 研究成果実績の概要						
本研究は、持続可能な開発目標(SDGs)の実施にかかる状況を行為主体に焦点を当てながら多面的に研究し、これにより SDGs の実施状況を把握することを通じ、新たなグローバル・ガバナンス戦略としての「目標によるガバナンス」の実態を明らかにすることを目的として実施した。ガバナンスにかかる様々な構成要素をいかなる行為主体や行為主体のネットワークが充足しているかという観点からガバナンスの有効性を評価する手法はこれまでも開発されてきたが、本研究はこれを実証的に検証するものでもある。実証研究としては、沖縄読谷村を主なフィールドとして、学生を交えたフィールドワークも実施した。本年度(平成 29 年度)は、まず課題分析フェーズとして、ステークホルダーへのインタビュー調査(6月、11月、一部12月)、ワークショップの開催(11月)を行った。ワークショップでは村内外の主要なステークホルダーを集め、地域の課題と未来を意見交換しながら考えた。 農漁業や観光セクターはそれぞれの分野における課題や期待があるとともに、農漁業セクターは、観光セクターと連携しながらそれぞれのセクターの発展を模索していることがわかった。例えば漁業協同組合関係者は、漁獲して売るというこれまでの漁業の形にとらわれず、定置網観光の更なる拡大や、観光客に対する直売式鮮魚食堂での売り上げといった形で事業展開を行っている。また、読谷村の特産物を利用した観光形態を模索する農業と観光セクター従事者の意見もみられた。読谷村の産業と観光の連携を強めるには、どの産業でどのような手法で売り出すかを特定するとともに、どのターゲット層に広報するかを多様なセクター間で議論、連携することが必要であることが明らかとなった。						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
The Sustainable Development Goals (SDGs) expressed in the form of 17 “goals” and 169 “targets” to be achieved by the year 2030. It calls for all stakeholders to implement the SDGs, including Governments, the private sector, civil society and academia. Especially, most of the goals are directly or indirectly related to the roles of local governments. In Japan, “The SDGs Implementation Guiding Principles” was released by the Government, and it encourages local governments to incorporate the SDGs into their strategies and policies to the extent possible. However, local implementation in Japan has not promoted so far, as the above mentioned Principles does not provide any practical guidance on how to incorporate them in policies. This project explored how global goals could be implemented at local level. This project looked into a local level problem structure in terms of the SDGs at Yomitanson Village in Okinawa. The project identified a number of interlinked problems through interviews and workshops bringing together local stakeholders (held in November).						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
蟹江憲史	SDGs によるガバナンスの本質を踏まえた指標の役割と機能	廃棄物資源循環学会誌	2017 年 11 月			